

## 「TOKYO 書 2014 公募団体の今」 TOKYO “SHO” 2014 : Japanese Calligraphy Today



【謙慎書道会】吉澤大淳 《霹靂起》 2010 年

本展は、全国（関東拠点）の主要公募団体の中から東京都美術館公募展活性化企画審査会【書部門】の審査を経て選定した 18 団体の合同展覧会です。各団体が推薦する若手から中堅作家までを含む、38 名の作家を一堂に紹介するもので、今回が第 2 回展となります。

作家 1 人あたり 10m の壁面に全員が新作を 1 点以上出品する本展では、旬の作家が今だからこそ書ける作品をご覧いただけます。多彩なジャンルの書作品は、書の枠に留まらず、美術やデザインの観点からもお楽しみいただけるでしょう。TOKYO に集結する書の今、どうぞご期待ください。

### 《展覧会概要》

○会期	2014 年 1 月 4 日（土）～16 日（木） *1 月 6 日（月）は休室
○開室時間	9：30～17：30 *入室は閉室時間の 30 分前まで *1 月 4 日（土）は 13：00 より開室
○会場	東京都美術館 公募展示室 ロビー階第 1・第 2
○参加団体 [50 音順]	奎星会、謙慎書道会、玄潮会、現日会、書海社、書星会、書壇院、書道一元會、書道芸術院、 創玄書道会、朝聞書会（2013 年 9 月 1 日に東京書道会から改称）、貞香会、東洋書芸院、 独立書人団、日本刻字協会、日本書作院、日本書道美術院、藍筍会
○出品作家数および出品点数	18 団体 / 38 名による約 80 点
○観覧料	一般 500 円、団体（20 名以上）400 円、65 歳以上 300 円、学生以下無料
○主催	東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
○協力	産経国際書会、一般財団法人毎日書道会、読売書法会
○後援	朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
○東京都美術館公募展活性化企画審査会 書部門 委員 [50 音順、敬称略]	大橋修一（埼玉大学教授）、笠嶋忠幸（出光美術館学芸課長代理）、 高橋利郎（大東文化大学准教授）

【本件に関するお問い合わせ先】 ※各団体への個別取材等のご希望も下記宛にお寄せください。

東京都美術館 広報担当 中山・進藤 TEL 03-3823-6921 / FAX 03-3823-6920

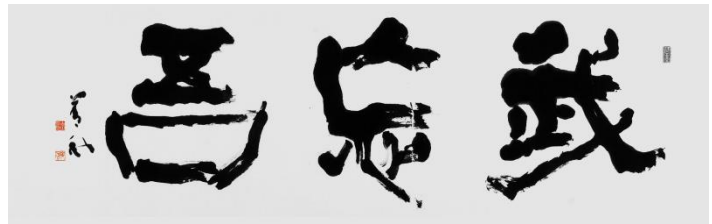
## 《見どころ》

■一人当たり 10m の壁面を用いて、  
作家一人一人の世界を十二分に表現

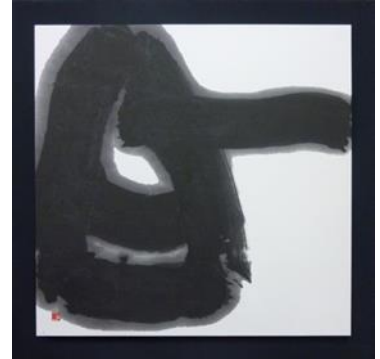
■一人 1 点以上の新作を発表

■いくつもの流派の作品が一堂に

■漢字、かな、刻字、大字書や前衛…  
奥深い書の世界を一度で体感できる多彩なジャンル



上：[日本書道美術院] 吉田菁風  
《我忘吾》2012年（参考作品）  
右：[玄潮会] 望月大猷  
《一白》2012年



## 《関連事業》

### アーティストトーク

出品作家が作品の前で制作経緯や技法、書への思いなどを自由に語ります。18 団体から 1 名ずつ、3 日間で計 18 作家が登場する予定です。出品作家との出会いや対話をお楽しみいただけます。

○日程 2014 年 1 月 11 日（土）、12 日（日）、13 日（月・祝）

○場所 東京都美術館 公募展示室 ロビー階第 1・第 2（展覧会会場）

\* 事前申込は不要ですが、当日の観覧券が必要です。参加作家は都合により変更になる場合があります。  
トーク順の詳細及び最新情報は、当館ウェブサイトにて後日公開します。

## 《プレスレビュー》

○日程 2014 年 1 月 4 日（土）10：00～11：00 （9：45 受付開始）

○受付 会場入口（公募展示室 ロビー階第 1）

○内容 担当学芸員による展覧会概要等の説明ほか

## 《同時開催の展覧会》

### 「富士をみつめて」

今年 6 月に富士山が世界遺産（文化遺産）に登録されたことを記念し、当館で収蔵する安東聖空の《富士》と《不二》という 2 作品を中心とした展覧会を開催いたします。

○会期	2014 年 1 月 4 日（土）～16 日（木） ※1 月 6 日（月）は休室
○開室時間	9：30～17：30 *1 月 4 日（土）は 13：00 より開室 *入室は閉室時間の 30 分前まで
○会場	東京都美術館 ギャラリー B
○観覧料	無料
○主催	東京都、東京都美術館

### 「Field of Painting」

「第 2 回 都美セクション グループ展」にて選出されたグループによる展覧会です。

○会期	2014 年 1 月 4 日（土）～10 日（金） ※1 月 6 日（月）は休室
○開室時間	9：30～17：30 *入室は閉室時間の 30 分前まで
○会場	東京都美術館 ギャラリー C
○観覧料	無料
○出品作家	木下直耶、佐藤修康、中村太一、松本菜々、山根一晃

# 「TOKYO 書 2014 公募団体の今」展 広報用素材

※掲載用素材として、下記の画像 18 点をご用意しております。

ご希望の際は、別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX にてお申し込みください。

※出品作品ではないものには、(参考作品)と記載しています。



図 1：[奎星会] 田岡楚香《Story II》2012 年（参考作品）



図 2：[謙慎書道会] 吉澤大淳《霽雲起》2010 年

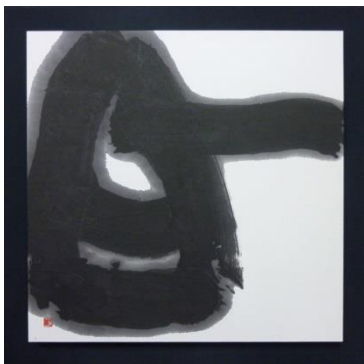


図 3：[玄潮会] 望月大耿《一白》2012 年



図 4：[現日会] 幡野虹舟《論語》2013 年

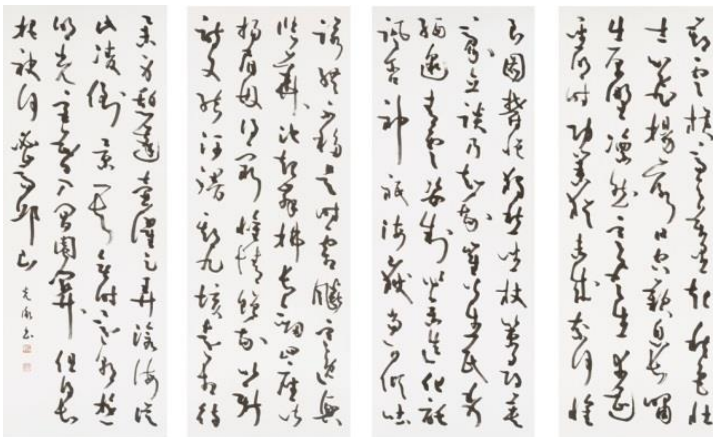


図 5：[書海社] 戸塚光胤《酬崔五郎中》2013 年



図 6：[書星会] 小原天簫《赤壁賦》(部分・巻末) 2013 年 (撮影：高林写真研究所)



図 7：[書壇院] 平井侗子《物のあはれ》2012 年 (参考作品、撮影：高林写真研究所)



図 8：[書道一元會] 雨宮太虚《不求》2011 年



図 9：[書道芸術院] 坂本素雪  
《下北半島》2013年（参考作品）



図 10：[創玄書道会] 川合玄鳳  
《寧太》2013年（参考作品）



図 11：[朝聞書会] 野口岱寛  
《悟》2012年（参考作品）

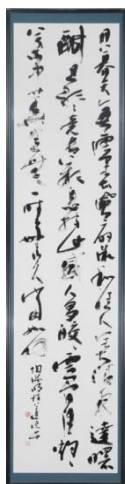


図 12：[貞香会] 鈴木蓮徑  
《陶淵明詩》2012年（参考作品）



図 13：[東洋書芸院] 堀江宣久  
《内面風景》2013年（参考作品）

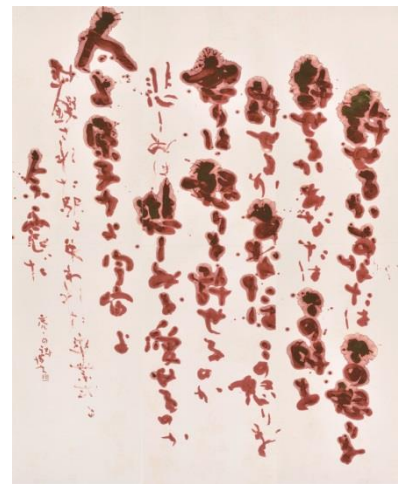


図 14：[独立書人団] 外山博彰  
《許せるか、あなたは》2013年  
（撮影：セキフォトス 田中俊司）



図 15：[日本刻字協会] 井上都洞  
《野華啼鳥亦欣然》2013年



図 16：[日本書作院] 井上光基《蘇東坡詩》2012年（参考作品）



図 17：[日本書道美術院] 吉田菁風《我忘吾》2012年（参考作品）



図 18：[藍筍会] 鳥井美知子《花》2011年

Fax 送信番号 **03-3823-6920**

東京都美術館 「連携展」担当宛

Tobi\_20131003

掲載用素材として、画像を申込します。(該当欄の口にチェックを入れてください)

【注意事項】掲載時は、下記クレジットを必ず入れてください。作品画像のトリミングはできません。  
事実確認のためゲラ等の段階で確認をさせていただきます。

掲載紙(誌)、DVD 等は、下記の広報担当まで寄贈くださいますようお願いいたします。

- 図 1:[奎星会]田岡楚香《Story II》2012 年(参考作品)
- 図 2:[謙慎書道会]吉澤大淳《鬱雲起》2010 年
- 図 3:[玄潮会]望月大耿《一白》2012 年
- 図 4:[現日会]幡野虹舟《論語》2013 年
- 図 5:[書海社]戸塚光胤《酬崔五郎中》2013 年
- 図 6:[書星会]小原天簫《赤壁賦》(部分・卷末)2013 年(撮影:高林写真研究所)
- 図 7:[書壇院]平井侗子《物のあはれ》2012 年(参考作品、撮影:高林写真研究所)
- 図 8:[書道一元會]雨宮太虚《不求》2011 年
- 図 9:[書道芸術院]坂本素雪《下北半島》2013 年(参考作品)
- 図 10:[創玄書道会]川合玄鳳《寧太》2013 年(参考作品)
- 図 11:[朝聞書会]野口岱寛《悟》2012 年(参考作品)
- 図 12:[貞香会]鈴木蓮徑《陶淵明詩》2012 年(参考作品)
- 図 13:[東洋書芸院]堀江宣久《内面風景》2013 年(参考作品)
- 図 14:[独立書人団]外山博彰《許せるか、あなたは》2013 年(撮影:セキフォトス 田中俊司)
- 図 15:[日本刻字協会]井上都洞《野華啼鳥亦欣然》2013 年
- 図 16:[日本書作院]井上光基《蘇東坡詩》2012 年(参考作品)
- 図 17:[日本書道美術院]吉田菁風《我忘吾》2012 年(参考作品)
- 図 18:[藍筍会]鳥井美知子《花》2011 年

掲載媒体名:

／掲載予定日:

種別 TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他( )

御社名:

ご担当者名:

E-mail:

@

TEL:

FAX:

\*ご記入いただいた個人情報は、ご記入者ご本人からのお問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的にのみ利用させていただきます。

【お問い合わせ先】 ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。  
〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36 東京都美術館 広報担当 進藤  
TEL 03-3823-6921 / FAX 03-3823-6920